

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 助教 1 名
2. 所属 生物資源科学部 アグリビジネス学科 アグリビジネスマネジメントグループ(大潟キャンパス)
3. 専門分野 流通・マーケティング学分野
アグリビジネスマネジメントグループは、農業・食料関連ビジネスの将来像を提案できる人材の育成、ならびに新たなビジネス構築のための研究を進めています。そのため、流通・マーケティング学分野に関する研究経歴を有し、またはこれまでの研究経歴を活かし、流通・マーケティング学分野に研究を展開できる能力と意欲を有し、農業の収益性向上を実現できる流通システムの確立、地域に立地する産業が収益性を高めるための販売戦略等に関して、研究や教育、地域貢献に意欲を持って取り組める人材を求めます。
4. 担当授業科目 (学 部) 農産物流通論(分担)、マーケティング論(分担)、日本農業の社会経済論(分担)、コンピュータリテラシー(分担)、プロジェクト演習・実験ⅠとⅡ(分担)、プロジェクト実習ⅠとⅡ(分担)、プロジェクト卒業研究(分担) など
(大学院) 食と農のマネジメント(分担) など
5. 応募資格 (1) 博士の学位を有すること、または原則として採用日までに取得見込みであること。
(2) 当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること。
(3) 国籍は問わないが、日本語が堪能であること。
(4) 採用が決定した場合、確実に着任できること。
6. 採用予定日 2026 年 4 月 1 日
7. 勤務条件等 (1) 身分 公立大学法人職員
(2) 給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制(本学給与規程による。)
(3) 勤務 裁量労働制
(4) 任期 5 年の任期制(再任は勤務成績により判断するが、再任回数に制限なし。)
(5) 定年 67 歳
8. 応募書類 (1) 履歴書(本学所定の様式 1 による。*)
(2) 研究業績書(本学所定の様式 2 による。*) 学術論文は、①学術誌論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの 3 編に○をつけてください。
(3) 主要論文 3 編(PDF 形式)
(4) これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む。)の概要(1000 字程度)
(5) 教育に対する抱負(1000 字程度)
(6) 研究・地域貢献に対する抱負(1000 字程度)
(7) 応募者について意見を求めることができる推薦者 2 名の氏名と連絡先
(8) 研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去 5 年間における獲得状況の一覧
注* 印：履歴書(様式 1) 及び研究業績書(様式 2)については、
ホームページ(<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>)をご参照ください。
9. 応募締め切り 2025 年 10 月 10 日(金) 必着
10. 選考方法 提出書類審査、学部選考委員会による面接(模擬授業を含む)
※面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村南 2-2
秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科 吉田康徳
TEL : 0185-45-3928 (ダイヤルイン)、E-mail : oya@akita-pu.ac.jp
電子メール(応募書類はすべて pdf 形式) 応募※または JREC-IN Portal Web 応募
※タイトルを「流通・マーケティング学分野教員応募」とし、必要書類を添付してください。
12. その他 本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画：

https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20250404_koudou03.pdf)

今回の公募で求める人材像

アグリビジネス学科のアグリビジネスマネジメントグループの流通・マーケティング学分野では、農業をビジネスとして捉え、利益を生み出す出口戦略を担うものであり、持続性と活力ある地域の創出をめざして教育、研究及び地域貢献を進めています。

今回の公募では、流通・マーケティング学分野に研究業績があり、またはこれまでの研究業績からこの分野へ研究を展開できる能力があり、新しい流通システムや販売戦略についての研究を推進し、流通現場の発展に貢献できる人材を求めます。また、これらの研究を通して学生の教育・研究指導に適切かつ積極的に取り組む意欲がある人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は下記のとおりです。

〔教育〕

流通・マーケティング学分野に関わる専門知識を有し、農産物流通論、フードシステム論、マーケティング論のほか、地方都市における新たな産業創出に関する講義ができ、消費や流通の現場に密着した教育を指導できる人材、農産物・食品流通や農業関連ビジネスへの就業を目指す学生への教育に意欲のある人材を求めます。

〔研究〕

流通・マーケティング学分野に関する研究業績を有し、わが国における農産物流通の再編や将来展望に関する研究に意欲的に取り組める人材を求めます。

〔地域貢献〕

農業経営者や中小企業、農協及び行政の取り組みに対して、流通・マーケティング学の観点から助言・提案を行うことに、意欲を持って取り組める人材を求めます。

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。
--

アグリビジネス学科 大講座制グループ構成

基本方針： アグリビジネス学科では、3研究グループ体制を堅持し、先進的な農業技術やアグリビジネスに関する研究を推進するとともに、それらを提案する能力のある人材を育成するための教育を行う。

アグリビジネス学講座

●アグリテクノロジー グループ

地域の自然的特性及び資源に基づく持続可能な作物・園芸・家畜生産の実用的先進的技術革新

- イネ、ムギ、ダイズ等土地利用型作物、栽培技術の技術革新、イネの遺伝学的研究(胚、栄養成長、花、穂などの形態形成を制御する遺伝的プログラムの解明)
- 園芸作物の生理生態的特性を活用した生産技術・実用技術開発、果樹の開花調整に関わる分子遺伝学的研究、リンゴの省力栽培技術確立、花き栽培と繁殖技術に関する研究、福祉や教育の場面における園芸活動、野菜の生産技術の開発
- 資源循環型の肉用牛生産のための畜産技術研究、未利用資源の飼料化を含む畜産資源循環利用、動物機能制御技術の開発

●ルーラルエンジニアリング グループ

地域環境水文学、農業水利学、農地防災保全学、生産システム工学による農業の高度化・体質強化を支える生産基盤整備に関する研究を行う

- 農地や水利システムの多面的機能を活用した流域管理、水管理構造と環境への影響評価、農村水系における自然浄化機能の活用、農地防災保全学による水利施設の安全設計、ICT活用による農業技術革新、高度な情報処理による新たな圃場生産システム構築

●アグリビジネスマネジメント グループ

経営、流通、政策・経済、社会の分野から、地域農業ビジネス、地域資源活用ビジネスの将来像を提案

- 農業構造等に影響を与える農業政策の分析と評価、農業経営及び地域農業構造の実態分析、新たなビジネスの構造と展開、流通場面における持続的発展の条件等についての実証分析、地域ビジネスの主体形成のあり方や支援方策の提案

アグライノベーション教育研究センター

●フィールド農学 グループ

農業を核とした地域及び地域産業の活性化に関する理論や技術を修得し、実社会の要請に応える農業振興や生物関連産業等に携わる人材の養成

- ・農業機械・作業管理： 自立・無人での新しい機械化作業技術
- ・作物生産： 有機農法での雑草抑制(水田ロボット除草機)、大豆畑への帰化雑草の侵入実態の解明と適応戦略)
- ・果樹園芸： キイチゴ属植物の遺伝資源の収集、評価及び利用、キイチゴ(ラズベリー)の栽培体系の確立
- ・家畜資源利用： 家畜飼養技術開発、飼料生産の確立